

ロシアの侵略

難民40万人超

【パリ】 AFP時事

【AFP通信の統計によると、ロシアの侵攻を受けたウクライナから周辺国へ逃れた難民の数は2月28日までに40万人を超えた。国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)は、状況が悪化すれば難民は最大400万人に達すると指摘。一方、欧州連合(EU)危機管理当局は700万人に膨れ上がる可能性があるとみており、「欧洲大陸の長い歴史の中で最大の人道危機となる恐れがある」と警告しています。

す。

ウクライナ人難民の

約半数はポーランドに流入しています。27日のボーランド当局の発表では、25日の一日だけで5万人が入国。総数は19万6000人となっています。ポーランドにはロシアの侵攻前から150万人のウクライナ人が暮らして

人が入国。次いでモルドバで、同国高官は少なくとも7万人が流入したと述べています。モルドバのガブリツア首相は「ウクライナで暗黒の日々が続く中、われわれは市民と共にあります」と述べ、難民に対し、安全な移動や避難施設提供などの支援を約束しました。

人や親族を頼っているが、国境付近では受け入れ施設の設置も進んでいます。次に多いのがハンガリーで、内務省によれば、約7万1000人

このほかルーマニアには4万7000人が入国。そのうち2万2000人は他の国へ移動したといいます。また、スロバキアにも1万7600人以上が流入しました。

ウクライナにとどま

っている国内避難民も約16万人いると推計されています。UNHCRのグランディ難民高等弁務官は「ウクライナ国内における移動は

拡大しているが、軍事的な状況を踏まえると、人数を推計したり、援助を提供したりすることが難しい」と強調しました。

最大の人道危機恐れ



2月27日、ウクライナとの国境に近いハンガリー東部ザホニ駅に到着したウクライナ難民たち（AFP時事）